

PROJECT

2

都市中小河川の水質保全

福井市の狐川や底喰川など都市近郊を流れる中小河川では、流域での宅地開発等に伴い、河川が有する浄化能力を超える量の汚濁物質が流入し、かつて水遊びや魚釣ができた川が汚れ、本来の水質を維持することができなくなっています。

公共下水道の整備

- 増加する生活排水による汚濁を軽減するため、重点的、効率的な下水道整備を推進します。

合併処理浄化槽への転換

- 合併処理浄化槽設置に対する補助制度を充実し、単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換を促進します。

生活排水対策モデル事業の推進

- 生活排水対策推進モデル事業を実施し、市町村と流域住民が連携した取組を促進します。

水循環の確保

- 緑地の保全や雨水の地下浸透の促進などにより、都市地域における水循環の確保を図ります。

水質浄化能力の回復

- 多自然型の川づくりを進めることにより、河川や水路自体の浄化能力の向上を図り、魚・昆虫などの水生生物や水辺植物等の生息・生育環境を復元します。

環境基準の指定

- ユスリカ^(*)が発生し、生活への影響が認められる中小河川について、環境基準の指定を行い、環境基準を維持・達成するための水質保全対策を推進します。また、水質が環境基準値を達成している河川についても、利水状況や水質の現況等に応じて環境基準を見直し、より一層きれいな河川水質をめざします。

(*) ユスリカ：ハエ目ユスリカ科の総称であるが、水質の汚濁した河川や都市下水路に大発生し問題となる種は、吸血性のないセスジユスリカがほとんどである。